

# 藻かけ



平成25年1月1日発行  
へら研阪神クラブ会報  
平成二十六年一月号 NO,481

発行〒666-0024 川西市久代5丁目9番1号  
(株) クシロ内 へら研阪神クラブ  
TEL 072-759-7023 FAX 072-759-8615  
photo 郷田 満 明石 徹 杉滝沢 享

編集 滝沢 享 稲森 豊 岡田寿夫 杉原武弘

## 十二月例会

滝沢 享

十二月一日(日)、兵庫県加古川水系に於いて、会員30名の参加を得て開催した。

午前6時30分、加古川大堰左岸下流の河川敷に集合。稲森会長の挨拶、郷田理事長より競技方法の説明と最近の釣況報告があり、例年になく寒気が強く気温が氷点下まで下がり、おまけに水は澄み殆ど釣れていない状態。

フリーでの入釣で各自目指すポイントへと向い、2週間前に釣れていた加古川バイパス左岸か上流のテラスとその下流の堰堤下、美囊川別所橋下流の実績のあるポイントに多くの会員が入川した。

寒さの影響で殆どアタリが出ない状況の中、昼前に集合場所下流の溜まりで谷名さんが釣れたのみ。午後からも釣れた情報が無いまま、午後4時検寸終了。

美囊川入った郷田さんが最長寸40・1cmと36・6cmを釣り優勝。2位の脇阪さんは加古川バイパス下流堰堤下で、3位の谷名さんは加古川・集合場所下流の溜まりでそれぞれ良型を揃え入賞した。釣果率27%  
場所を移動し、十二月例会表彰と平成二十五年度の総会を行った。

### 十二月例会成績表 (ヘラブナ二尾長寸)

優勝	郷田 満	76.7cm	400点
2位	脇阪 博蔵	75.6cm	390点
3位	谷名 正博	75.1cm	380点
4位	加藤 仁	39.0cm	370点
5位	栗原 天高	36.6cm	360点
6位	三木 修	35.8cm	350点
7位	田路 秀一	34.3cm	340点

(以下参加点100点)

田中 秀雄、藤井 栄子、岡田 寿夫、  
伊藤 規行、松下 英樹、瀬野 利夫、  
北尾 博之、板東 英昭、森田 定美、  
熊田 智文、藤井 秀和、井上 裕之、  
杉山 健一、高木 勇作、鈴木 誠司、  
山本 尚美、山本 勉、明石 徹、  
稲森 豊、大橋 充、滝沢 享  
安藤紀久夫、川上大二郎



加古川・上荘橋右岸上流  
アタリを待つ森田さん



美囊川・別所橋右岸下流の瀬野さん



美囊川・別所橋左岸下流の(上)北尾さんと  
(下)郷田さん、この後明暗が分かれる

### 加古川例会スナップ



美囊川の40.1cmの美形のヘラブナ



### へら研阪神クラブ 会長



稲森 豊

明けまして

おめでようございませす。

今年も楽しく釣りましょう釣れない日は楽しくありません。釣れるようにガンバリましょう。工夫しましょう。それでもダメな日は大笑いしましょう。

昨年の月例会は不振でした。釣果のあった人が10名以下の月が3回もありました。今年出来るだけ多くの参加者に、釣果が得られるような場釣り場を優先して例会場所を決めたいと思います。全員参加で釣れる例会場所を探しましょう。

会員数が40名を切り最も多かた年の半分以下になってしまいました。次のヘラブナ釣り界を背負う若い人達にヘラブナ釣りに興味を持ってもらえる機会を作るのが必要でしょう。

へら研阪神クラブは積極的に活動して行きたいと思えます。皆様の協力やアイデアを頂きますよう宜しくお願いします。

ご家族の皆様共々御健康で楽しく釣れますようお祈り申し上げます。

平成二十五年度総会

平成二十五年度総会を十二月一日(日)、十二月例会終了後、加古川市の「鯨割烹・塩谷」に於いて参加二十九名にて開催。

総会は明石副理事長の開会の辞で始まり、稲森会長の挨拶、郷田理事長より年間行事報告。岡田会計より会計報告があり、三木監査役より監査報告がされ参加員から拍手を持って承認されました。

続いて年間表彰が行われ、皆勤賞十七名、年間優秀賞は年間安定して上位にいた郷田満さん、大型賞は50cm上2枚目の伊藤規行さん。精勤賞は稲森豊さん、今回新人賞は該当者なし、そして努力賞の表彰が行われました。

引き続き平成二十六年度の予算案とその他議題へ移り、昨年同様に五月の第四土日に一泊釣り親睦会が承認されました。

平成二十五年度各賞

- 皆勤賞**  
 明石 徹、伊藤規行、大橋 充、岡田寿夫、川上大二郎、北尾博之、熊田智文、郷田 満、杉山健一、高木勇作、滝沢 享、田中秀雄、田路秀一、板東英昭、三木 修、松下英樹、脇阪博蔵
- 精勤賞**  
 稲森 豊



優勝者 郷田 満

今年の例会は、十一月まで好調が続いており、最後の例会も規定の二枚を釣ることを目標に例会前週の日曜日に試釣に行きました。午前中の釣りで、美囊川、別所橋下手左岸中洲で竿を出したが、アタリも無く撃沈。他の釣り場も視察しましたが、何処も水が澄んで釣れそうな気がしない。例会までに雨の降る予報はないので、何処へ入るか迷ってしまう。

そんな状況の中、例会当日は試釣では釣れなかったものの、前週朝、頻繁にモジリがあった相性良い美囊川、別所橋下手左岸中洲で一日粘ることに決めて集合場所を出発。

いつも美囊川、常連の加藤さん、井

年間優秀賞

- 優勝 郷田 満 四九二〇点  
 2位 脇阪博蔵 三九三〇点  
 3位 川上大二郎 三九二〇点  
 4位 高木勇作 三七七〇点  
 5位 田中秀雄 三七〇〇点  
 6位 田路秀一 三五三〇点  
 7位 伊藤規行 三三五〇点  
 8位 北尾博之 三二七〇点  
 9位 栗原 天高 二九七〇点  
 10位 三木 修 二九五〇点

年間大型賞

- 優勝 伊藤規行 51・7cm  
 2位 高木勇作 49・5cm  
 3位 杉山健一 49・4cm  
 4位 板東英昭 49・3cm  
 5位 栗原 天高 49・0cm  
 6位 田中秀雄 49・0cm  
 7位 岡田寿夫 48・7cm  
 8位 稲森 豊 48・5cm  
 9位 北尾博之 48・4cm  
 10位 安藤紀久夫 47・3cm

努力賞

- 井上裕之、岡 修司、加藤 仁、川村静香、佐藤忠純、柴田忠幸、白井良紀、鈴木誠司、瀬野利夫、谷名正博、網島清一、元吉茂司、森田定美、藤井栄子、藤井秀和、山本 勉、山本尚美、山本真一、安藤紀久夫、柴田美恵子



上さんは下流へ車を走らせたようで、今回は北尾君と二人だけの釣りとなり、慌てることもない。しばらく水面を見ていいもモジリも無く前週より少し澄んだ様子。

これといったポイントも決められず、釣り座は前週よりも下流に釣台をセットし、伝家の宝刀25尺を継ぐ。床を計ると正面から下手が少し浅くなって掛け上がっている様子。トップがギリギリ沈む程度のバランスの軽いドボン仕掛けで正面上手にエサ打ち開始。

時間が経過しても前週と同じで、一時を過ぎてもジャミアタリもない。隣の北尾君は、一度アタリがあつてバラシたが後が続かず、谷名さんが二枚釣ったとの情報で、集合場所下手のタマリに場所移動。

今日は、ここで一日粘ると決めたので、動じず床休めを兼ねて昼食タイムにする。

昼食後、稲森会長と熊田さんが移動してきて三人並んで釣ることに。目之初めてのアタリでて痛恨のバラシ。その後は音沙汰なく、残り時間も少なくなるばかりで、このまま終わってしまうのか不安になってくる。

入地点を、やや浅い下手に変えて打ち返すと、今までと違いウキに変化

が表われた。次も同じポイントへ打ち返すと、喰い上げアタリで、待望の美べら40・1cmが玉網に収まりました。

その後も、エサ打ちの度にへらが寄ってきた気配があり、バラシ、ウロコが針掛かりし、終了時間も迫った頃に規定の二枚目36・6cmが釣れて、ほっとひと安心。

十二月例会も規定の二枚が釣れ、おまけに優勝までも。今年是一年を通して釣果に恵まれ、最後の例会も有終の美を飾り終わることができました。



年間優秀賞

郷田 満

新年、あけましておめでとうございませぬ。会員の皆様におかれましては、健康やかな新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は、三月末で定年を迎え、四月からは役職も外れたことで、気楽な釣りが楽しめるようになりました。

一年を通して毎例会で釣果を上げることを目指し、例会の度に試釣に行ったことで、良い結果を出せることができました。残念ながら7月例会の千種川では、自分の不注意で、朝の集合前に蜂に刺され遅れての参加となり、思った釣りが出来なかったことです。

しかしながら、平成10年の入会以来、

12月例会 加古川 上位入賞者の仕掛け、エサなど

	竿	道糸	ハリス	ハリ	エサ	釣り方	釣果
優勝 郷田 満	25尺	1.5号	0.8号	上 10号 下 8号	上下とも α21、わたグル	水深1.8m ドボン	2枚
2位 脇阪博蔵	12尺	1.5号	0.6号	上 7号 下 5号	上 マッシュ 下 いもグルテン、α21	水深1.8m 深宙	2枚
3位 谷名正博	18尺	1.5号	0.8号	上 7号 下 7号	上 真底 下 α21、わたグル	水深1m 床	2枚
4位 加藤 仁	22尺	2号	1号	上 9号 下 7号	上下とも マッシュ	水深3.5m 片キン	1枚
5位 栗原天高	24尺	2号	1号	上 7号 下 7号	上下とも 新べらグルテン α21、	水深0.8m 床	1枚

《クラブ員の見聞》

- 平成二十五年度に退会された方  
 足立 戒朗さん  
 芝崎 孝夫さん  
 藤田 武さん

タナも深いのでジワジワと上げながらこんな早くにアタるので「カメ」ちやうか?とも思ったが水面で出てきたのはデッカイ大きなヘラの口でした。

慎重にタモで掬い引き上げた瞬間に「来た」と大声で叫んでいた。皆が釣りを止めて私の叫び声に集まり拍手喝采、検寸すると50cmを優に越えていた。記念撮影を何枚撮って頂いたか解りませんが私にとって秀天で「2年前に釣ってからは今回で2枚目となる50上でした。」

撮影も終わり上手の浅場で巨べらをそっと逃がして釣り座に戻るとスパイクブーツを履いた慌ただしい足音のオッサンが釣り台を持って私のすぐ上手に設置しだした。

藤井さんだった。どやら私のヘラを見て助平根性でやって来たのだが、このままでは共倒れになるのは間違いないので大人な私は場所を譲り、対岸の出っ張りに場所移動しました(笑)

その後は霧も晴れ快晴の青空の下で何事もなく夕刻を迎え井上さん、藤井さんと3人で20時までナイトも試みましたが結局、巨べらの姿を拝む事はできず納竿としました。

今回は自己記録更新で年間大型賞まで頂くことが出来非常に嬉しかったですが、私的にはそれ以上に多くの阪神クラブの会員の方々からの祝福

の電話やメールを頂けた事が幸せです。

釣れても釣れなくても喜びを共感出来る仲間がいる事を改めて感じ今年も例会等を通じて皆さんとの親睦をさらに深めたいと思います。



芝崎 孝夫

永い間、へら研阪神阪神クラブに在籍させて頂きましたが、今年十二月で当クラブを退会します。会長始め、仲間の皆様方には難儀な時も休会中の時も、ご心配して頂き感謝しています。会に入会する前、オープン参加の時に(東播・印籠池)私に場所を空けてくれた事があり、その日は釣果がありませんでしたが、一日が気持ちの良い時間でした。その人が稲森会長でした。あれから月日が経ち

幾度の浮き沈みはありましたが、一会員として楽しく時を過ごせました。又、阪神クラブの一員として誇りを持っております。本当に有難う御座いました。

からは、若い会員さんに少しでも釣果を上げてもらえるよう、その都度アドバイスが出来ればと思っています。熟練の皆様方も是非とも後輩育成の為、どうかご教示よろしくお願ひします。

これもひとえに稲森会長はじめ、諸先輩方々からのご指導のお陰と誠に感謝いたしております。稲森会長とは、永年釣行にご一緒させていただき、釣行の度に学ぶことが沢山ありました。

ウキ作りに関しても、ご教示いただいたお陰で自分なりに釣り場に合ったウキが作成出来るようになり、それなりに釣技の範囲が広がって、一年を通して良い釣果につながったと思っています。

昨年の例会参加人数は、前年度と比べ平均五名の減少になっています。高齢化、家庭の事情で退会された方、体調不良等が原因で会員が減少していくのは避けられないことです。

今後のへら研阪神クラブ存続のためには、若い会員の育成と新会員入会が重要視されます。そのためには、ベテラン会員の諸先輩方々が、惜しまず若い会員さんに釣技を継承し、早く上達してもらい、次の世代に受け継ぐ人材を育てることが、最も必要なことと考えます。

私としても、まだまだ未熟で自分が釣るのが精一杯なところですが、今年



年間大型賞 伊藤 規行

中国地方に大雨洪水警報が発表され河川の氾濫や高速道路が通行止めになるほどの大雨の中、広島県の黒瀬ダムへ三木さん、安藤さん、板東さん、井上さん、藤井さんと私の6名で釣行しました。事前の情報では、黒瀬ダムは毎年6月20日前後に大型の実績

平成二十五年度総合成績表

Table with 12 columns: Rank, Name, Points, Participation, Attendance, Rank, Name, Points, Participation, Attendance. Lists members and their performance for the 25th year.

があるとの事。今回は私を含め皆が初めて訪れる釣り場の為、地元の方の案内で早朝に湖畔に到着しました。小雨の降る中、初めて見る湖面の沖目に大きなもじりが我々を出迎え朝霧に包まれ幻想的な雰囲気たっぷり、いかにも釣れそう?な感じでした。

地元の方の話では過去の実績は右岸側でかなりの大型が上がっているとの事でしたが、右岸の道路沿いはあまりにも車横付けの楽チンポイント過ぎて逆に竿を出す気にはなれず私は一人対岸の出張りに入りました。

右岸側の釣り場はほぼ満員、したがって警戒心の強い大型の魚は沖から対岸の私の方に寄ってきて左岸側の私一人だけにウフフフ...と思いきや全くアタリすらし。おまけに右岸側はバラシやハリス切れなど連発で、ついに?安藤さんが47.3cmを釣り上げた。

「次はオレの番」と気合を入れたものの時合いが続いたのはやはり右岸側で今度は板東さんに49.2cmが;対岸から板東さんに聞こえたかどうかは分かりませんが「おめでとございませう」と伝えその後は時合い落ちとなり結局夕刻まで誰にも釣果はありませんでした。

やはり朝から右岸側に入釣してればひよっとして;と後悔しながら納竿としました。終了後は板東さんの勧めもあり翌日に備え釣台のみを板東さん